



BCAOアワード2018審査結果

BCAOは、事業継続計画（BCP）に関する表彰を毎年実施しています。今回は13回目となります。

特定非営利活動法人 事業継続推進機構(BCAO)は、日本の事業継続(BC)の普及に資するため、その普及、実践等に貢献した個人・団体を表彰する「BCAO アワード 2018」の受賞者を、この度、下記のとおり決定いたしました。本アワードは2006年度に創設され、今回が13回目の表彰となります。

6月3日(月)、東京渋谷の東京ウィメンズプラザにて表彰式を行い、多くの方に参考にしていただけるよう、受賞者の一部の方に内容についてご発表いただく予定です。

各賞受賞者一覧

【事業継続部門】

	各賞受賞者	タイトル
大賞	株式会社 セコマ	過去の教訓をばねに～北海道胆振東部地震の対応～
優秀実践賞、 人づくり・訓練賞	剤盛堂薬品 株式会社	「BCP 活用による研修」による人材育成への活用
優秀実践賞、 被災地支援賞	株式会社 ウェルシィ (現、三菱ケミカルアクア・ソリューションズ株式会社 ウェルシィ事業部)	災害時における地下水膜ろ過システムの有効性及び事業継続への工夫について
人づくり・訓練賞、 企業防災賞	東急ファシリティサービス 株式会社	東急沿線のサステナブルに向けた BCM の取り組み
優秀実践賞	株式会社 寿精密	BCP の有用性と行動の違いを意識した訓練による実効性の向上
	沢根スプリング 株式会社	平時の経営力強化と危機対応力強化を両立させた BCP への取り組み
	島野精機 株式会社	製造業 BCP 策定における非常時対応訓練による課題抽出と対応能力向上 (人材育成)
	東京石灰工業 株式会社	BCP 策定と事業所間連携
	渡辺建設 株式会社	浅間山噴火及び地震対応出動訓練・地域と共に開催する防災フェア
普及貢献賞	東京海上日動リスクコンサルティング 株式会社	「実践 事業継続マネジメント」の発刊 (2006～2018年)

	社	
奨励賞	寅屋敷哲也 氏 東北大学災害科学国際 研究所（現、人と防災未 来センター）	東日本大震災における気仙沼市の水産業の事業継続に 関する調査研究

（同一賞につきましては、組織名の五十音順にて記載しています）

【防災部門】

	各賞受賞者	タイトル
企業防災賞、 被災地支援賞	広島トヨペット 株式会 社	平成 26 年豪雨の経験を踏まえた西日本豪雨の対応
被災地支援賞	株式会社 エイチ・エ ス・ピー	西日本豪雨被災地への除菌消臭水提供による被災者・ 支援者の命と健康を守る支援活動
	ヒラオカ石油 株式会社	緊急時給油契約「きっと」

（同一賞につきましては、組織名の五十音順にて記載しています）

【推薦部門】

	各賞 受賞者
東日本大震災 「災害対応特別賞」	株式会社 元気アップつちゆ 様
西日本豪雨 「災害対応特別賞」	旭酒造 株式会社 様
西日本豪雨 「災害対応特別賞」	医療法人和陽会 まび記念病院 様
北海道胆振東部地震 「災害対応特別賞」	医療法人社団 H・N・メディック 様

（同一賞につきましては、組織名の五十音順にて記載しています）

選考に当たり重視させていただいた点

【事業継続部門】

■ 大賞

タイトル	選考に当たり重視させていただいた点
株式会社 セコマ	北海道を中心に原材料の生産（農業）から食品製造、物流・卸、コンビニエンス・ストアを展開する同社は、阪神・淡路大震災を機に災害対応を強化し、その後の災害のたびに改善を重ねた。東日本大震災では、関東の店舗が被災する中、非常用発電等で継続し、ガス釜調理によるおにぎりの供給を継続するなど工夫も行った。さらに、調達先の複数化、訓練等を行い、BCPを強化してきた。北海道胆振東部地震では、全道停電の中、甚大な被害の店舗を除き、非常用電源の活用、関東からの商品の確保等により店舗の営業を継続して地域の暮らしを支え、行政への応援協定も履行した。これらは事業継続の優れた取組として高く評価できる。

■ 優秀実践賞・人づくり・訓練賞

タイトル	選考に当たり重視させていただいた点
剂盛堂薬品 株式会社	漢方薬品の開発、製造等を行う同社は、BCPの策定に経営陣が全面的に関わり、事業継続には自社に何が欠けているか、何が自社の強みかを見直し、自社の経営体質強靱化には何を為すべきかを従業員一人一人が問い直すように努めた。全従業員を対象とした「BCP研修」では従業員が部署間の垣根を越えて対策を検討することで、社員のBCPの理解が進め、実効性向上が図られた。また、BCPの活動を単に災害対策を始めとする緊急時の危機管理活動だけではなく、平時における社員間及び部門間の理解、コミュニケーションの醸成に活用し、リーダーシップを持つ人材の養成に成功していることも評価できる。

■ 優秀実践賞・被災地支援賞

タイトル	選考に当たり重視させていただいた点
株式会社 ウェルシイ (現、三菱ケミカルアクア・ソリューションズ株式会社 ウェルシイ事業部)	地下水を浄化し飲料水として供給する地下水膜ろ過システムを提供している同社は、災害時に水道が被災した際、透析治療などの水を多く必要とする病院や介護福祉施設等の重要施設で水を安心して使うことを可能とするシステムを全国に納入し、メンテナンスしている。東日本大震災や熊本地震では、納入先をサポートして被災地での水の確保に貢献した。また、自社のBCPを、自然災害、人為的・技術インシデント、新型インフルエンザ、火災未然防止の4部構成で作成し、訓練を実施しており、災害時に納入先を支援するため、資材や燃料の確保を含めた体制の整備や、顧客対応のため為の資金手当についても準備している。

■ 人づくり・訓練賞、企業防災賞

タイトル	選考に当たり重視させていただいた点
東急ファシリティサービス 株式会社	自社の事業継続としてビル管理業務における同業他社の被災時対応調査も行き協力を進め、同業務のお互い様BC連携を6社に拡大するなど進んだ取組を行っている。また、東急グループ全体のBCの推進の立場から「BC研究センター」の設立等により、グループ横断的なBC専門人材の積極的・計画的な育成、グループ全体へのBCに関する講座・講義や訓練指導の実施、物資代替輸送演習など複数企業との相互連携、大学研究機関との協力など、顕著な活動を行っている。また、災害食についての学会とも連携した取組や東急沿線地域との防災連携活動も含め、企業防災においても積極的な活動を展開している。

■ 優秀実践賞

タイトル	選考にあたり重視させていただいた点
株式会社 寿精密	2013年に最初のBCPを策定した同社は、実際の被災を想定したBCPの有用性と行動の違いについて説明と訓練を繰り返すことで、災害対策本部員の対応力を高め、また、訓練時に抽出した課題を管理し改善を図ることでBCPの実効性を向上させてきた。本社工場以外の工場でも生産継続できる対策の実施に加え、被災後のリードタイム短縮を重要課題と捉え、他府県の同業他社との「お互い様戦略」を推進中である。2017年の台風21号で倉庫が浸水被害を受けたが、その対応経験も踏まえて事前対策を講じ、かつ、その後に接近した台風に備えた事前の備えも実施しながら、BCMの課題抽出と対策も行っている。
沢根スプリング 株式会社	静岡県に近い本社立地も踏まえ、経営理念の最初に「会社を永続させる」というBCの実現を掲げ、従業員の安全確保策とともに県外5社との災害時連携協定の締結などの代替戦略を導入している。また、「小ロット注文を世界最速で製造しお届けする」経営方針による多品種小ロット生産一人完結製造方式を、事業継続力の向上の面からも有効なものとして推進しており、工夫が認められる。実際の災害対応として、2018年9月の台風による大規模停電において、BCPや訓練が役に立ったことはその実効性を示している。さらに、静岡県の企業防災、BCP・BCMの啓蒙に貢献していることも評価される。
島野精機株式会社	輸送用機械器具製造業を営む同社は、自動車メーカーへの納入責務を果たすため、BCPを策定し、限りある時間・人員を効果的に使用するため、既存の書類の活用、訓練を通じた対応能力向上、訓練やミーティングに役員が100%参加すること等を実施した。BCP訓練においては想定を超える被害を受けた状況を正しくイメージし、自助による初動対応の後、事業継続へつなげることができるよう、訓練結果をもとに詳細な課題管理表で整理し、To Doリストとして位置付け活用している。また、若年層社員が今後必ず直面する直下型大規模地震に対しての備えや対応能力向上による人材育成を目的としていることも評価できる。
東京石灰工業株式会社	北関東および東北に採石業の事業所を持つ同社は、東日本大震災で被災しつつ復旧事業のため碎石出荷を求められ、これをきっかけにBCPの策定に着手し、実効性向上に努めている。地域分散している事業所立地を代替性確保に活用し、各プラント設備、重機のスペックを統一して「製品」、「設備」、「重機」、「人員」、「燃料」等の相互補完を可能にしている。また、平常時の活動をBCの訓練と位置付け、重機ローテーションや新車の納車を被災時の重機廻送訓練としても実施しているなど工夫もみられる。また、経営者が社員の意識改革に努力しており、BCP・BCMの取り組みを広く公表していることも優秀な実践として評価される。
渡辺建設 株式会社	建設業を営み災害時対応を担う同社は、浅間山噴火の対応経験も踏まえ、浅間山噴火を主に想定したBCPを策定し、それを強化してきている。BCPに基づく即応に必要な機器収納倉庫の設置に加え、耐震性のある本社も新築中である。被災状況の把握に位置情報添付写真を送信し地図表示するシステムやドローンも活用している。2018年1月の本白根山噴火で緊急出動要請に応じて現地調査を行うなどの諸対応に対し、地元行政から感謝されているほか、地域の方々も参加いただく訓練・防災フェアも主催し、また、浅間山噴火及び地震対応出動訓練では協力業者、警察署、行政、市民と実施しているなど、地域連携も高く評価される。

(同一賞につきましては、組織名の五十音順にて記載しています)

■ 普及貢献賞

タイトル	選考にあたり重視させていただいた点
東京海上日動リスク コンサルティング 株 式会社	2005年の内閣府の事業継続ガイドラインの公表を受けて、書籍「実践 事業継続 マネジメント」は、BCP・BCMの普及促進のため、10年以上に渡り継続的に改 訂・発行されている。基本的な内容は同ガイドラインやBCAO標準テキストと親 和性が高いものである一方、BCP策定支援コンサルティングの実務経験を元に、 企業で起きる担当者人事異動の場合の対応、BCP策定済み企業の維持改善への具 体的取組事例の紹介、同社独自の強みであるBCPベースのサプライチェーンリス クマネジメント、グループ会社の特色を活かしたリスクファイナンス対応等、 BCP・BCMの理解や取組の推進に有用な独自の内容も充実している。

■ 奨励賞

タイトル	選考にあたり重視させていただいた点
寅屋敷哲也 氏 東北大学災害科学国 際研究所（現、人と防 災未来センター）	東日本大震災における気仙沼市の水産業の事業継続に関して実地のヒアリング調 査を行い、漁港・魚市場の事業継続、および行政による復興事業等と水産加工業 の事業継続の関連についての研究を行い、学会論文として公表したことは、事業 継続の分野の実践的な学術研究として評価できる。また、論文において、地域の 主要産業の早期復旧に必要な条件について広く明らかにしたことは、今後の災害 での産業復旧の重要な視点になり得ると期待できる。著者は、他の被災地との比 較研究を通じて、事業継続を可能とする条件を明らかにしていく意思も示してお り、本分野の研究の更なる社会への貢献も期待できる。

【防災部門】

■ 企業防災賞・被災地支援賞

タイトル	選考にあたり重視させていただいた点
広島トヨペット 株式 会社	同社は平成 26 年豪雨で店舗が土石流に見舞われた経験から、初動対応マニユ アル、訓練、BCP策定を行ってきた。平成 30 年の西日本豪雨では、安否確認、災 害対策本部立上げ、情報収集、顧客対応活動等を、外部支援を受けつつ着実に行 ったのに加え、自らの能力や技術を活かして、お客様に対する被災地支援情報の 丁寧な収集・発信活動を行い、社員有志が地域の被災地復旧へ参加した。また、 日頃より、非常時電力供給が可能な車両を寄贈も行っている。さらに、今回の経 験と実際の文書、収集資料を「西日本豪雨関係資料」としてまとめ、これも活か して自社のBCPに台風タイムラインを加えるなどの改定も行っている。

■ 被災地支援賞

タイトル	選考にあたり重視させていただいた点
株式会社 エイチ・エ ス・ピー	西日本豪雨により岡山県内で甚大な被害が発生し、同社社員・家族も床上浸水の 被害を受けた中で、被災当初から被災地に次亜水による除菌消臭水を提供し、作 業者の健康被害の防止と被災建物や備品等の財産の保全支援を行ってきた。この 活動は地域からも高く評価され、被災経験の学習にも協力を行っている。また、 東日本大震災においては、除菌消臭用の次亜水の生成装置を小学校とコミュニテ ィセンターに設置・提供しており、熊本地震でも、現地導入済み装置の復旧、次 亜水の噴霧装置の無償提供を行った。さらに、同社は、被災企業の衛生管理や食 中毒防止、消臭対策活用等のため、次亜水効果の科学的な検証を継続している。

ヒラオカ石油 株式会社	石油燃料供給を営む同社は、緊急時給油契約「きつと」を導入し、被災組織の事業継続にも役立つとして事業展開している。その実効性を高めるため、リスク分散を目的に東日本支社を開設し、M&A で人員や設備投資による自社車両、自社備蓄施設等を充実し、車両の緊急通行車両化、非常用発電機設置、燃料在庫の実在庫確保、待機体制保持、衛星電話や契約者専用回線確保等を行っている。熊本地震では契約先の要請に応え被害直後の被災地へ救援車両4台の迅速な投入を行った。また、その後の大阪北部地震や西日本豪雨等の災害でも迅速な対応を行っており、被災地の事業継続支援を含む有効な支援活動として評価できる。
-------------	--

(同一賞につきましては、組織名の五十音順にて記載しています)

【推薦部門】

■ 災害対応特別賞

タイトル	選考にあたり重視させていただいた点
株式会社 元気アップつちゆ 様	東日本大震災と原発事故の風評被害で、土湯温泉は16軒あった旅館のうち5旅館が休廃業し観光客が激減して、町の存続も危ぶまれる状況になった。その復興を目指し、協議会で自主的な復興計画を策定し、さらに、まちづくり会社「株式会社元気アップつちゆ」を設立した。小水力発電事業、地熱バイナリー発電事業、オニテナガエビ養殖事業、再生可能エネルギーの体験学習施設整備等を行い、視察や研修会なども招致して、土湯温泉の復興を推進している。
旭酒造 株式会社 様	西日本豪雨により、同社は2棟の蔵のうち1棟が一部浸水被害を受け、また、停電で2棟とも冷蔵設備が停止した。発酵中の停電で本来の品質基準に届かず、十分おいしいものの通常のブランドで販売できなくなった「獺祭」などの製品を、被災者や被災地域に役立つものにと考え、地元出身の漫画家弘兼憲史の共感を得て島耕作とのコラボによる「獺祭 島耕作」として販売した。1200円のうち200円を義援金に充てるこの取組は、社会に大きな反響があった。
医療法人和陽会 まび記念病院 様	西日本豪雨により、地域で唯一の一般病院である同病院は、1階が全面浸水し、ほぼ満室の入院患者や集まった避難住民が孤立し、停電・断水により設備やトイレが使用不能となった。このため、緊急度の高い患者はヘリコプターで転院させ、他の患者や自衛隊のボートなどで転院を進め、水が引いた後にスタッフや避難住民もすべて安全に避難できた。その後、病院施設が使用できない中、健診車による診療も開始して、地域社会の災害対応と復興に貢献した。
医療法人社団 H・N・メディック 様	北海道胆振東部地震のブラックアウトの中、透析を行う地域最大の医療機関として、患者を代替先で透析することを第一に考え、情報入手に人の派遣等を行い移送可能な相手方等の情報収集を行うとともに、患者全員に連絡をとった。リスクの高い透析患者順に優先順位をつけ、透析を代行してもらえる場所を調整・決定し、かつ、一人一人のカルテから透析の条件を紙に書き写し転院の準備も整えた。さらに、代行先へ移動できない患者にマイクロバスの配車も行った。

(同一賞につきましては、組織名の五十音順にて記載しています)

BCAO アワード選考委員会では、2018年10月26日から2019年1月31日の募集期間に応募（推薦部門は同期間に推薦）があったものについて、次の観点から厳正なる審査を行いました。

◆受賞

- ・ 事業継続部門：大賞（1件）、優秀実践賞、人づくり・訓練賞（1件）、優秀実践賞、被災地支援賞（1件）、人づくり・訓練賞、企業防災賞（1件）、優秀実践賞（5件）、普及啓発賞（1件）、奨励賞（1件）
- ・ 防災部門：企業防災賞、被災地支援賞（1件）、被災地支援賞（2件）
- ・ BCAO 推薦部門：災害対応特別賞（4件）

◆選考方法、基準等

○事業継続部門：趣旨に記載した表彰対象の内容について、

- ・ BCの普及に向け社会的に最も影響が大きい優れた取組と判断されたものを「大賞」
- ・ 優れた取組みで特に見るべき特徴のあるものを「特別賞」
- ・ 優秀なBCPの策定・BCMの実施で範となるものを「優秀実践賞」
- ・ BCのための人づくり、訓練の手法の紹介や実践事例で優れたものを「人づくり・訓練賞」
- ・ BCの普及に顕著に貢献した出版、活動などを「普及貢献賞」
- ・ 今後の取り組みに期待できるものを「奨励賞」

とします。BCに関わる成果を広く知らしめることを重視するため、公表履歴の多いものをより評価しますが、実践の場合にはこの限りではありません。

○防災部門：企業や企業を中心とする地域の防災への取組で

- ・ 特に見るべきものがあると評価されるものを「企業防災賞」
 - ・ 被災地支援の取組として評価されるものを「被災地支援賞」
- とします。

○推薦・自薦部門：阪神・淡路大震災以降の事例で、自薦・他薦を問わず、

- ・ BCの推進に顕著に寄与した事例（または人物）を「BC推進事例賞（または特別賞）」
 - ・ 災害等への優れた対応事例を「災害対応特別賞」
- とします。

【BCAO アワード 2018 表彰式 プログラム】

◆日時：2019年6月3日（月）16時50分～17時45分

◆場所：東京ウィメンズプラザ 地下1階ホール（〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-67）

◆内容：

16:50～16:55 「ご挨拶」

宇佐美 博／特定非営利活動法人事業継続推進機構 理事長

16:55～17:10 「選考説明・受賞者発表」

丸谷 浩明／特定非営利活動法人事業継続推進機構 担当副理事長

17:10～17:30 「賞状授与」

宇佐美 博／特定非営利活動法人事業継続推進機構 理事長

17:30～17:45 「記念撮影」

問合せ先： NPO 法人事業継続推進機構 事務局 細坪（ほそつぼ）、平吾（ひらご） TEL 03-6231-1240 FAX 03-6661-9191 bc@bcao.org
